

革新的な空調自動制御システムの導入と 継続的な改善活動(DCIM)

■DCIM概要

人工知能エンジンが室内のワイヤレス温度センサモジュールと空調機を関連付け、各センサ計測値の変動に合わせて対象空調機を選定し自動制御することで、最適な空調環境と省エネを実施し、データセンター内のエネルギー効率化を実現。

■人工知能エンジンの特長

1:温度センサによるサーバ吸込み温度の実測と収集

温度センサにより計測・収集されたデータを表示可能。
計測されたサーバ吸込温度データを、人工知能エンジンに送信。

2:データの分析と活用

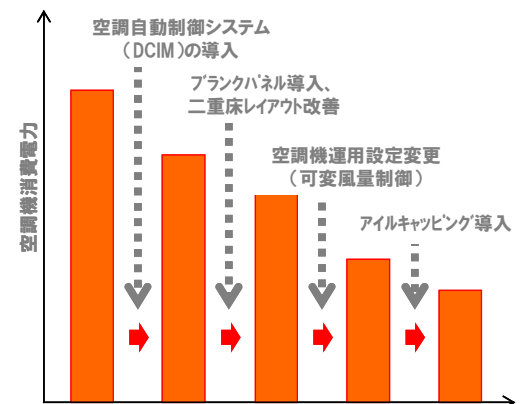
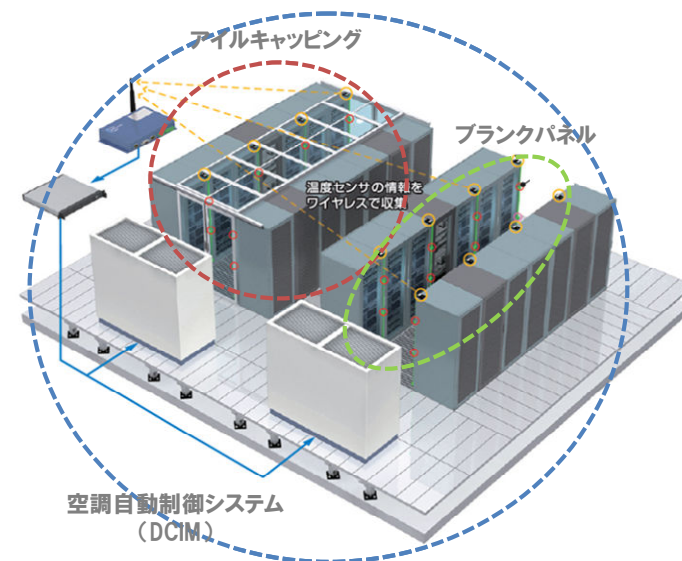
計測データを分析し、サーバ吸込温度を設定温度幅内に維持する最適な冷却方法を決定。

3:空調機の自動制御

分析結果に基づき人工知能エンジンから各空調機に制御信号を送信し、個別に制御。

4:データセンター環境の継続監視

データセンター環境が常に最適となるように、温度環境変化を実測し空調制御精度を改善。



DCIM(見える化+最適制御)と
定量化指標を活用した継続的な改善